

畑野町の人口 (8月1日調べ)
人口 1818人 男 909人 女 909人
世帯数 967世帯

はたの

令和3年 9月15日 発行
第545号 / 畑野町自治会



TEL/FAX (0771) 28-2752
Email: jichi-hatano@nike.eonet.ne.jp
http://www.hatano.kameoka-city.org/

長寿の皆さんにお祝い申し上げます

今月は長寿の皆さまを敬い、感謝とお祝いを申し上げる敬老月間(長寿月間)です。長寿国として、また豊かな国として、世界に誇れる日本となっておりますが、これもひとえに、先輩の皆さま方がご尽力くださり、この社会を築き上げてくださったおかげと感謝にたえませ

ん。そうした感謝の意を込めて、今年こそは皆さまをお招きしての「敬老のつどい」を開催する計画でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらなため中止とさせていただきます。また、皆さまと気兼ねなく安全に集える日が早く来ますことを願っております。

皆さまにはどうか変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、そしていつまでもご健で、心豊かな人生を過ごされますようご祈念申し上げます。

畑野町の高齢化率が四十%超に

畑野の在住の六十五歳以上の高齢者は七七八人で、高齢化率は四二・八%となりました。亀岡市の高齢化率三〇・五%よりも十二・三%高く、毎年二%程度増え続けています。うち七十五歳以上の後期高齢の方は三〇八人で十六・九%、亀岡市の十四・四%を二・五%上回っている状況です。

二十年前までは、亀岡市の中でも高齢化率が低い畑野町でしたが、年少者が年々少なくなっていることが、高齢化率を引き上げることとなり、今では高齢化率が高いまちとなっております。これからも、高齢者が安全で安心して希望に満ちた日々を送っていただくためのまちづくりが大切と考えて努力してまいりますので、変わらぬご理解とご協力をお願いします。



東京パラリンピックが閉幕

障がい者スポーツの祭典パラリンピックが、コロナ感染拡大でいろいろな制約が課せられる中、感動と共生社会の意義を問いかけて無事閉幕しました。

パラリンピックは、誰もが個性や能力を發揮できる公正な機会が与えられる場を具体的な形で示し、多様性を認め合う共生社会の実現を示し追及する場です。障がいがあっても残された身体機能を最大限活かして限界に挑む選手の姿に、障がいの有無にかかわらず困難を乗り越えて今を生きる私たちに、前に進む勇氣と元氣を与えてくれたのではないのでしょうか。



共生社会の実現は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に掲げる「誰一人取り残さない社会」と重なり、亀岡市の新たな総合計画の基本理念である「誰もが個性や能力を發揮し、共に生き、支え合い、ふれあいのまちづくり」の実践でもあります。

日常から「備え」を意識して

毎年、国内で大規模な自然災害が発生しています。秋雨前線による豪雨や台風襲来の時期を迎えて、災害発生時の恐れがある場合には、急な避難が必要となることも想定されます。

日頃から防災意識を高め、避難の準備や情報確認ができるように心掛けておきましょう。

畑野の伝統行事「サンヤレ」

土ヶ畑に古くから伝わる伝統行事「サンヤレ」が、八月二四日の夕刻から集落を見下ろす円山の丘で執り行われました。

大松明が燃え上がる中、子どもたちが太鼓や鉦を鳴らし、五穀豊穡と火よけを願う愛宕信仰にちなんだ行事で、市の指定文化財となっております。

かつては薪などを集める準備も含め、行事のすべてを中学生以下の子どもたちが自ら行っていました。近年は少子化の影響で地域の住民らも協力して行い、現在まで継承されてきています。

夕日が沈むころ、マスク姿の地元の子どもや住民らが円山の丘に集い、二基の愛宕灯籠前に積み上げられた高さ二メートルほどの大松明に火が入られると、炎が立ち上がる中で子どもたちは太鼓と鉦を打ち鳴らしながら「西のおくくサンヤレヤ」と唱えて火を拝み、今年も無事に「サンヤレ」の行事を終えました。



新型コロナウイルスの感染対策を続けてください

亀岡市においても先月から感染者の急増が続いています。既にワクチンを接種した方も、マスクの着用や消毒など感染予防対策をしっかりと行っていたかどうかにも府県をまたぐ移動や不要不急の外出は控えていただくなど、強い意志で行動していただくようお願いいたします。

緊急事態宣言発出中
感染拡大が続いており、このままでは救える命が救えなくなります。
医療現場の危機的状況をご理解いただき、感染リスクのある行動は避けてください。